

**第2回山形新幹線米沢トンネル（仮称）整備スキーム検討会議  
議事概要**

【日 時】令和8年1月7日（水）15：00～16：45

【場 所】都道府県会館 408 会議室（東京都千代田区平河町 2-6-3）

※WEB 会議併用

【出席者】出席者名簿参照

**【議事概要】**

○前回の議論を踏まえながら、米沢トンネル（仮称）の(1)整備計画と(2)整備スキームに関する議論が行われた。

**(1) 整備計画**

- ・ J R 東日本から、工期（着工から約19年）や工事費（約2,300億円）の内訳、工事着手までのプロセス（概略設計、詳細設計、環境アセスメント）の詳細などについて説明。
- ・ 県からは、工事着手までのプロセスに関して、環境アセスメントの手続きにできる限り早期に着手することが重要であり、そのためには概略設計に早期に着手し完了することが必要であることから、概略設計の一部である地質調査・測量に速やかに着手し、完了すべきと発言。
- ・ J R 東日本からも、概略設計の一部である地質調査・測量を先行的に実施することは整備スキームの具体化にも寄与するものであり、良い考えであるとの考えが示され、概略設計の一部である地質調査・測量の先行的な実施に向けて、県と J R 東日本で調整していくこととなった。

**(2) 整備スキーム**

- ・ 前回会議の意見を踏まえ、J R 東日本から、既存の制度を活用した場合の J R 東日本の費用負担の想定等について詳細に説明し、県からは、県が以前経済波及効果を算出した際の需要予測に基づく J R 東日本の費用負担の試算について説明。
- ・ 次回第3回会議において、整備新幹線や都市鉄道等と同等の制度の措置を仮定した場合の試算などを示しながら、さらに議論を深めていくこととなった。